

けやきだより

社会福祉法人みらい



今月号の写真 『初心忘るべからず』

社会福祉法人みらいでは、今春2名の新入職員を迎えました。2025年4月1日（火）、2名の勤務先である多治見市平井町事業所にて、後方から先輩職員らの温かい眼差しを受けながら、和やかなムードの中で2025年度入社式を行いました。

新入職員の2名は、これまでの人生で学んできたこと、経験してきたことも活かして、利用者に信頼される支援者となれるよう一日でも早く仕事を覚えていきたいと、これまでの自身の歩みも含めて熱く抱負を語ってくれました。

新入職員も先輩職員も、それぞれが持っている初心を忘れず、利用者さんに負けじと自分らしく輝いていってほしいと思います。

新しい仲間を紹介します。

今年度から新しく法人みらいの事業所を利用されている皆さんをご紹介します。今年度はとても多くの仲間が加わりました。



けやき 小栗 彰太

僕がけやきでがんばりたいことは、一般就労に行けるようにがんばることです。一般の仕事ができるようにけやきでがんばって、少しずつ覚えて行きたいと思いました。高校の時は、現場実習で、調理やクリーニングをして難しいところがあって、失敗はあるけど頑張っているように行きたいです。



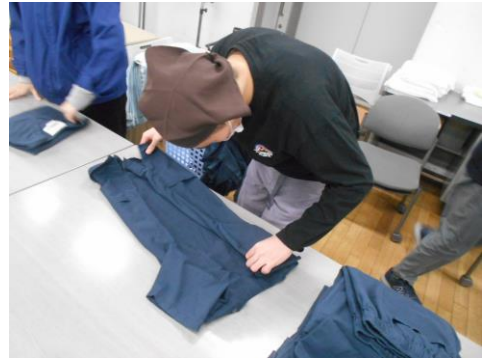
けやき 小栗 諄大

ぼくは学校をそつぎょうしてけやきにはいりました。今はちょうりはんでべんとうのもりつけをしています。まちがえないようにやっています。ぼくはおかしづくりもすきなのでちよくはんもやってみたいです。





けやき 郷地 健留



東濃特別支援学校から来ました。郷地健留です。ぼくはクリーニング班でタオルを施設ごとに分ける事をがんばっています。頑張りたいことは、仕事のスピードをあげていきたいです。けやきの人ともなかよくしていきたいです。しょうらい一般しゅうろうできるようにがんばって力をつけていきたいです。



第2けやき 小栗 悠成



だい2けやきで働いています。小栗悠成です。いろいろなしごとをおぼえて、まじめにはたらきたいです。けやきのせんぱいたちとなかよくしごとをしたいです。ぼくもせんぱいたちのようなひとになりたいです。



第2けやき 黒岩 直太郎



まだ分からないことばかりですが、いろいろな仕事を覚えていきたいです。困った時相談したり、分からない時にすぐ質問できるようになりたいです。工賃を貯金して銀色の時計や動物の飾りが付いたイスを買いたいです。



第3けやき 加藤 梓沙

今年度から第3けやきに通っています。初めの頃は今までと違う環境に戸惑ったり、行動停止していた姿も見られましたが、少しずつ慣れてきたようです。これからも作業や活動を通して楽しく過ごしてほしいと思います。(母)



第3けやき 酒井 里緒

4月から第3けやきでお世話になっています。実習でお世話になっていたのですが、それほど緊張する事もなく、毎日元気に通えています。働いたお金を貯めてディズニーランドに行く事を目標にして、元気に頑張してほしいです。(母)



けやき可見 稲垣 孟

ぼくがけやき可見で頑張りたいことは、人の目を見て話を聞いて仕事中は寝ないで集中して作業を頑張っていきたいです。やってみたいことはバックヤードでのしよっき洗いやほかの人といっしょにちがう場所でやっていきたいと思っています。





けやき可見 高木 美佳

けやき可見に来て2ヶ月がすぎました。皆さんが、声をかけてくれてとても楽しいです。私は、目がわるいので、あまり細かい仕事はむずかしいけど頑張りたいです。これから友達をいっぱい作りたいたいです。



ほっとスマイル 元木 結愛

この春からほっとスマイルに通っている元木ゆなです。たくさんの方との関わりを大切に創作活動や、いろいろな仕事にチャレンジして、笑顔いっぱい頑張っていきたいです。(母)



ほっとスマイル 吉田 拓夢

この春新社会人となり、小学部から放デイでお世話になってきたほっとスマイルさんへ働く人として通っている吉田拓夢です。まだ見習い中ですが、なくてはならない人になれるよう毎日がんばって作業を覚えていきます。(母)





～生活介護合同展示発表会～

今年の展示会では、第3けやき、第4けやき合同で、作品展示、縫製作品の販売会、ステージ発表としてファッションショー、ヒーローショー、音楽発表を行いました。

第3けやきでは、作品展示を行いました。来ていただいた方には、ゆったりとした時間の中で作品を楽しんでもらうことが出来ました。1年かけて展示会に向けて制作した作品が並び、作品で部屋いっぱいになりました。



裁縫クラブによるファッションショーでは、裁縫クラブの活動時間に制作した物を身に付けて、ランウェイを歩きました。当日まで、歩き方やポーズの練習を行いました。当日は堂々とランウェイを歩くことができ、ポーズも決めることができました。終わった後は、楽しかったという利用者さんの表情であふれていました。



ヒーローショーは、利用者さんが中心となり行いました。衣装は利用者さんのイメージする形になる様に職員と相談しながらダンボールで制作しました。ポーズの練習を何度も行い、当日はお客様の前で披露することができました。

販売会では、裁縫クラブで制作した作品が並び、お客様に購入していただきました。去年より多く買ってもらえたと喜ばれる方がいる一方で、来年は買ってもらえる物を作ると、今から来年の展示会に向けての意気込みを話される方も見られました。



音楽クラブではお客様の前で3曲を披露し、お客様に喜んでいただきました。歌う人と楽器の人に分かれて発表しました。緊張している利用者さんもありましたが練習の成果を出し切る事が出来たと感じました。

第3けやき職員 あだち

寄付等頂いた皆様の紹介

ご寄付をいただいた方

根本外科医院三島吾朗

けやき保護者会



セレナをご寄贈いただきました。

日本財団様より、第2けやきにセレナをご寄贈いただきました。

施設外作業への移動や駅への利用者送迎で活躍しています。大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。



福祉豆知識



「移動支援」というサービスをご存じでしょうか？ 移動支援とは、1人での外出が困難な障がい児・者が、自立した生活と余暇活動等社会参加のための外出ができるよう、移動の介助及び外出に伴って必要となる身の回りの介護を行うサービスです。

移動支援は市町村事業ですので、それぞれの市町村で細かなルールは異なります。しかし、共通しているのは、移動の手段は公共交通機関であることです。

なぜ、移動手段が公共交通機関となるのかには主に二つの理由があります。一つは福祉サービスの「支援」という枠組みのため、利用者自身でできるように、もしくはできることが増えていくためには、支援者が運転する車両に乗るのではなく、公共交通機関を使って料金を払ったり、路線を覚えたりしていくのが望ましいというのが理由です。もう一つは、タクシーとの関係です。福祉サービスとはいえ、対価を得て移動するのに、支援者運転の車両を使用した場合、いわゆる白タクと同じような形になってしまいます。その為、福祉には福祉有償運送事業という別のサービスがあります。

移動支援のご利用についての詳しいお問い合わせは、各市町村や相談支援事業所などにお問い合わせください。



お知らせ

けやき可児祭りが残念ながら昨年度を最後に廃止となりました。お祭り当日に可児市役所の駐車場の利用ができなくなることもあり、これを機に多治見で行う「けやき祭り」に法人すべての事業所のお祭りを一本化することにしました。これまでけやき可児祭りにご協力、ご来場いただきましたすべての関係者の方々に感謝申し上げます。今後は11月に開催予定の「けやき祭り」にご協力、ご来場いただきますよう、よろしくお願いいたします。



木工品の紹介

第2けやきで制作している木工品ですが、今年度は岐阜県産材（ヒノキ、スギ）での製造にも挑戦しています。これまで使用してきた米国産ヒバよりも扱いが難しく、より技術が必要となりますが、利用者さんの技術力向上が目覚ましく、製品化にこぎつけました。ご注文やお問い合わせは、第2けやきまでお願いいたします。



電話 0572-26-8600



編集後記

新年度となり、法人には新卒利用者がたくさん入りました。皆さんまだまだ慣れないこともあると思いますが、日々それぞれの事業所で頑張っています。もう数か月もすればすっかり慣れて、社会人の顔になっているのを想像すると、今から楽しみです。

話は変わりますが、障害福祉分野では3年ごとに制度の改正があります。昨年度制度改正がありましたので、今年度は特に大きな変更はありません。しかし、次回の改定に向けて色々な話し合いがされる年になりますので、その動向を注視していく必要があります。安定的な法人運営にとって、重要な1年となります。

課長 かとう

社会福祉法人みらい けやきだより第48号

発行日 2025年5月
発行者 社会福祉法人みらい事務局
〒507-0827岐阜県多治見市平和町6-364
TEL 0572(22)1011



法人ホームページはこちらから